



【第二学年】

64期生マレーシア修学旅行の思い出

2010年 10月23日(土)~27日(水), 10月24日(日)~28日(木)

“Sedia Payung Sebelum Hujan.” マレー語で、「雨が降る前に傘を用意する」という意味で、日本では「転ばぬ先の杖」となるのでしょうか。こんなことわざにも雨が使われるように、マレーシアは雨の多い国です。加えて、クアラルンプールは10月から雨期に入ります。旅行中の天候が気がかりでしたが、案の定、直前の週間天気予報では、連日雨の予報が並んでいました。ある程度の雨は覚悟していましたが、毎日降られるのはうんざりするなと思いつつ、日本を立ちました。



宿舎となった「ホテルイスタナ」

空港に降り立った私たちを迎えたのも、どんよりと曇った空と、そこから落ちてくる雨粒でした。生徒には「雨の季節だけにうきうきするでしょ。」と冗談を言って笑ったものの、翌日からのことを思うと、心の中はマレーシアの空模様と同じようにどんより重たくなっていきました。

ところが、翌日、ホテルを出た直後にさっと降ったものの、体験学習の会場に向かううちに陽の光がさしてきて、申し分のないお天気になりました。結局、この後雨に遭うことはほとんどありませんでした。B隊はバツ洞窟で一度だけスクールに遭い、しばらく洞窟内で待機したようですが、A隊は

スクールを体験することもなく、(それはそれで少し残念でしたが…) 毎日天候に恵まれ、楽しい旅行になりました。特に学校交流の日は、会場となったホールが狭く、もし雨ならAKB48やソーラン節をどこで披露することになったのだろうと思うと、本当に晴れてよかったと胸をなでおろしました。

今回の修学旅行で最も印象的だったのは、64期生が積極的に旅行を楽しもうとしている姿でした。食事やトイレなど、文化の違いに大いに戸惑いながらも、そのことさえも「体験」ととらえ、「負」の要素を「正」に転換していききました。その気持ちがあったからこそ、修学旅行を大成功に導くことができたのだと思います。



ホームビジット先の家庭で

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka>携帯サイト <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka/keitai/keitai.htm>

(題字 森 敏行先生)

帰国後に行ったアンケートでは、60%を超える生徒が「とても満足」と答え、「ほぼ満足」を加えると85%が満足したと回答しています。その数字が何より修学旅行の成功を物語っていると思います。

生徒のアンケートで最も満足度が高かったのはホタル観賞でした。写真もビデオも撮影禁止だったので、お見せできなくて残念ですが、生徒の心にはしっかりと焼き付いていることでしょう。「神秘的で心が穏やかになるようなきがしました。」と、ある生徒が感想文に書いておおり、ボートがかき分ける静かな水音しか聞こえない暗闇の中で明滅するホタルの光は、言葉にできないほどの美しさで、すっかり魅了されてしまいました。ホタルを見て、環境を守る大切さに気づいた生徒もいました。

バツ洞窟も人気でした。暑い中、200段近い階段を上らねばならなかったのですが、洞窟の中はひんやりと涼しく、洞窟の景観も見ごたえのあるものでした。洞窟から見るクアラルンプールの景色もすばらしく、生徒は思い思いに写真を撮っていました。階段に猿がいて、お菓子を盗られた生徒もいましたが、それも思い出の一つになったかもしれません。

最終日に行った市内グループ研修は、3番目に満足度が高かった活動です。案内役の学生ボランティアは、日本語学校の学生のはずなのに英語しか話せず、最初は困惑したグループもあったようです。それでも何



マレーシアの高校生と交流

とか英語でコミュニケーションをとりながら、観光や買い物を楽しむことができました。

全体的には70%近い満足度でしたが、ホームビジットは、訪問した家によって、ずいぶん差がありました。けれども、個人的な観光ならば決して訪ねることのない、マレーシア農家の生活に触れることができたのは、貴重な体験だったと思います。

旅行先がマレーシアだったことで、残念だったことは、現地の学校と相互交流ができなかったことです。向こうの学校

から日本に来てもらうのは難しく、一方的な訪問で終わってしまいましたが、英語を使って交流できたことは、英語の大切さにも気づくことになり、64期生にとっては大きな収穫でした。バレーボールやサッカーを通して、スポーツは言葉の違いを越えて交流できることを実感した生徒もいました。短時間にもかかわらず、心の触れ合う交流ができました。

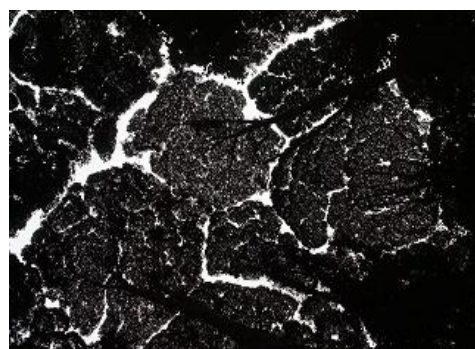
この他、選択メニューによる体験学習では、ジャングルトレッキング、パティック（ろうけつ染め）、ピューター（錫製品）加工、マレー舞踏、マレー料理づくりを体験しました。中でもジャングルトレッキングは温帯に属する日本と熱帯雨林気候のマレーシアの自然風土の違いを、身をもって実感できたことがたいへん有意義でした。

帰り際に現地のガイドさんに天気予報の話をする、「マレーシアでは天気予報なんて見る人、いないよ。いつも同じだから。」と言われて、日本でも昔は「当たらないものは宝くじと天気予報」というほど天気予報が外れていたことを懐かしく思い出す一方で、日本ほど天気予報を気にする国はないという話も思い浮かび、ここでもお国柄の違いをまざまざと感ずることになりました。4泊5日のマレーシアの旅。「異文化」をしっかりと認識し、日本では当たり前だと感じていることが当たり前ではないことを知り、改めて日本を見つめ直すきっかけになったと実感しています。

(文章責任 四組担任 植松 健一郎)



バツ洞窟



熱帯雨林の樹冠

【第三学年】

学年主任 諸正 邦彦

強い信念を持って

みなさんは「青の洞門」というのを知っていますか。大分県中津市耶馬溪にあります。耶馬溪の山国川に面してそそり立つ競秀峰という絶壁に掘られたトンネルです。その昔、ここは交通の難所で多くの旅人や地域の人が落命していました。そこに立ち寄った禅海和尚という方が、そのことを聞き、石工たちと槌とノミだけで30余年をかけて安全に行き来できる道を作ったという話が伝えられています。この話をもとに菊池寛が『恩讐の彼方に』という小説を書いています。

かの達磨大師も強い精神力の下、心身脱落、只管打坐の精神で悟りを開いたと伝えられています。これが「面壁九年」の由来になっています。

人は何かを成し遂げなければならぬと心に強く決意したらその信念の下、どんな困苦をも乗り越えて頑張ることのできる強いものを内に秘めているものです。

63期のみなさんは今、自らが志望する受験先に向け、日々必死の思いで頑張っていることと思います。絶対合格するという強い信念を堅持し、今まで学習してきたことと自分を信じ、残された時間を頑張りたい。ただし、体調管理には十分に気をつけて下さい。

推薦の受験に失敗した人は捲土重来を期して、これから受験するものは捲土重来を期することなく強い信念で63期、頑張れ！

【第一学年】

学年主任 草間 義彦

「精誠所至・金石為開」

夏休み明けからの4ヶ月、2回の考査と文化祭、合唱コンクール、進路講演、人権講演そして台湾桃園高級中学との国際交流とおおくの行事がありました。

9月の文化祭では、クラスが演劇や教室イベントに挑戦、11月の合唱コンクールでは、課題曲「心の瞳」とクラス自由曲の2曲に取り組みました。中心になる人は、作り上げる難しさや苛立ちを感じた事もあったと思います。しかし、取り組む思いが強ければ強いほど、やり終えた後の感動も大きかったはずで

す。11月の佛教大学の原先生（「卒業後輝く為に今するべき事」と12月のパラリンピック水泳日本代表の生長先生（「障害と共に生きる」）の講演会では、とても良いお話をきかせていただきました。テーマの違うお二人の講演ですが、共通して「打ち込めるものを持つ大切さ」「打ち込むものを持っている強さ」を言われていました。まさしく、今65期生の皆さんに必要な事ではないでしょうか。



そして、12月16日に桃園高級中学の生徒の皆さんと、授業やHR、全体レクレーションを通して交流を深めることができました。言葉や文化は違っても同じ高校生同志、すぐに打解け、理解し合えたのではないのでしょうか。来年10月には、私達が桃園高級中学を訪れます。再会が楽しみです。

また、表題の「精誠所至・金石為開」は、桃園高級中学からのお土産に頂いた掛け軸の言葉です。中国の故事で、「誠心誠意で取り組みれば、必ず成功する」という意味があるそうです。何事も同じだと思います。もちろん勉強も。誠心誠意取り組みれば、必ず良い結果が得られる。冬休みを終えれば、2ヶ月で1年生最後の考査を迎えます。有終の美を飾れるよう、「精誠所至・金石為開」の気持ちで取り組んで下さい。

【進路指導部】

12月20日現在の進路の状況です。大学入試はこれからがいよいよ本番です。3年生の皆さんは体調に気をつけ、年末年始の誘惑にも負けず、希望の進学先に向けて進んでください。

推薦入試等合格者数中間集計

大学	合格者数
大阪教育	4
高知	1
同志社	2
関西学院	4
関西	9
京都産業	1
龍谷	2(4)
近畿	15(32)
同志社女子	4(5)
武庫川女子	4(5)
京都外国語	7(12)
関西外国語	6(9)
畿央	3
甲南女子	1
四天王寺	1
摂南	1
関西福祉科学	1
仏教	1
相愛	3
大阪音楽	2
大阪芸術	5
大阪工業	4
大手前	1
大阪樟蔭女子	1
千里金蘭	2
大阪商業	1
神戸親和女子	1
神戸学院	1(4)
大阪電通	1
追手門学院	1

短大	合格者数
京都聖母女学院	1
常磐会	2
大阪キリスト教	1
川崎医療	1
大阪成蹊	1

専門学校等	合格者数
国立病院大阪医療センター看護	1
大阪歯科医師会歯科衛生士	1
近畿医療技術	1
ル・トーア東亜美容	2
大阪動植物海洋	1
森ノ宮医療	1
辻製菓	1
ESA音楽学院	3
上田安子服飾	1
キャットミュージックカレッジ	1
放送芸術学院	1
大阪ハイテクノロジー	1
近畿医療技術	1
バンタンデザイン研究所	1

公務員	合格者数
東京消防庁	1
神戸市消防局	1
国家公務員三種	1

各学校別の合格者数は現役の実合格者数
()内は延べ合格者数(含浪人)判明分のみ

【保健部】

3年生 麻しん（はしか） 予防接種の接種状況

麻しん（はしか）は、ウイルスによって空気感染する急性の発しん性疾患で、合併症で重症化する場合や、最悪の場合は死亡するケースもある病気です。治療法はなく、予防接種が一番の予防方法なのです。

2012年（平成24年）までに麻しん（はしか）の流行をなくそうという国の方針により、全国の高校3年生が予防接種を受けるよう法律で定められています。

麻しん・風しんのワクチンを今まで（生後から高校2年まで）に1回接種している方も、2回目の接種を受けましょう。

予防接種を1回しか受けていない10代～20代の方は、免疫力が十分ではなく、学校などで麻しんに感染し、集団感染が起こるなど平成19年に大きな社会問題になりました。受験や進路を決める時期だからこそ、2回目の接種が必要です。

今なら無料！

・今なら3年生は、麻しん・風しん混合ワクチン（MR ワクチン）が無料（市町村が費用を負担）で受けられます。

期間は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までです。

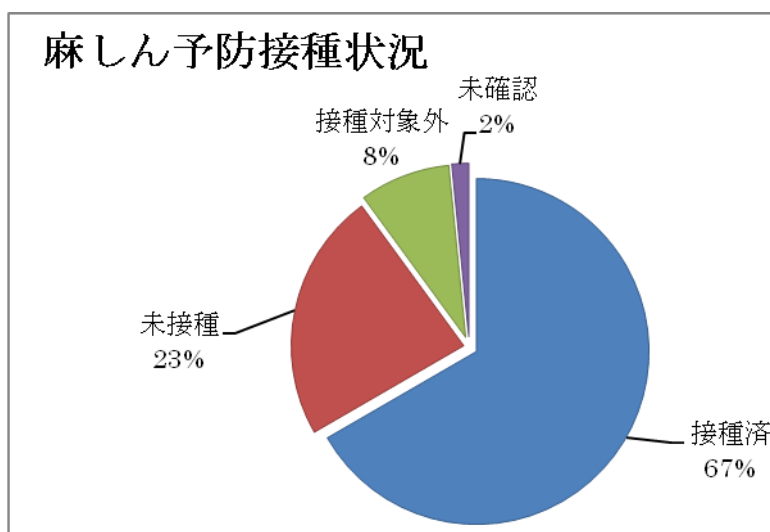
それをすぎると、全額自己負担となり、約1万円ほどかかります。

・就職や進学にあたり「麻しんに対する免疫を持っていること」が求められることもあります。

（大阪府 健康・福祉ホームページより）

◎本校3年生の2回目の接種状況（11月末現在）は、別表（グラフ）の通りです。昨年度の同時期の調査（61.3%）より少し上昇したとはいえ、目標とされる95%以上には程遠い状況といえます。時間が無いやめんど臭い、受験前に接種するのは心配などで遅れている人も、ぎりぎりになって慌てても間に合わない場合がありますので、できるだけ早期に接種しましょう。

接種済	212 人
未接種	74 人
接種対象外	27 人
未確認	5 人



【生徒指導部】

年末、年始に楽しいイベントを計画している人も多いと思いますが、高校生として、夕陽丘の生徒としてのルールを守るように心がけてください。特に飲酒、喫煙はもちろんのこと、最近若者の間に急速に広がりを見せている大麻、覚醒剤などの薬物にはいっさい手を出さないこと。

気持ちを弛めることなく自分の行動に責任を持ち、他の人に迷惑をかけないようにしましょう。

★遅刻について（4月～11月）（12/14現在）

	SHR 遅刻	授業遅刻 遅刻	遅刻 合計	早朝登校 指導生徒数	昨年度 遅刻	一昨年 遅刻
1年生	205	216	421	7	519	322
2年生	400	493	893	17	534	1108
3年生	266	470	733	3	1526	1506
合計	871	1179	2047	26	2629	2936

○ 大丈夫？ 2年生

- ・ 2年生はこの遅刻の数を見てどう思っていますか？確かにきちんと正しい生活リズムで学校生活を送り問題のない人も多くいると思います。来年度はいよいよ人生の大きな節目の時期を迎えます。足元をしっかりと固め、勝負する準備はできていますか？『遅刻の数は浪人する確率に比例する』と言う話をよくしますが、結局現役の時に足元の土台を固めなかったために結果が出せなかったということだと思えます。遅刻の多い人は来年の自分の姿を想像して見てはどうでしょうか。笑って卒業できますか？1年生は2年後のために今しっかりと足元を固める必要があると思います。自分が納得できる成果を出すためには、全ての基本となる規則正しい生活習慣を身につけることです。入学時の初心に戻り、自分の生活習慣を見直してください。
- ・ 3年生はいよいよ勝負の時がやってきました。この学年は過去の学年と比べても遅刻が非常に少なく遅刻指導を受けた生徒は4月から2名だけです。これから受験を向かえる人はきちんとした生活リズムを崩さないように心がけてください。受験ではきっと実力を発揮することができると思います。頑張ってください。

★携帯電話について

4月から12月14日までに授業中の使用、電源の切り忘れ等で指導を受けた人が45名います。昨年度と比べ15名以上増加しています。中でも1年生が24名です。

今や高校生には無くてはならない物ですが、夕陽丘の携帯電話の指導方針はマナー指導です。だからこそ持つ人のマナーが問われます。持つ者の責任をしっかりと自覚してください。

★『保護者の感想』

朝の挨拶運動に協力していただいた保護者から「挨拶しても無視して行く。まともに挨拶できない子供がとても多いですね」という話を聞きました。私も同感です、機会があれば生徒に話をしますとお答えしましたが、よく考えてみると高校生に挨拶しなさいと言う話が必要なのかと思いました。

挨拶はコミュニケーションをとる第1歩であり、強制されてやるのもでもないと思います。しかし社会では時間を守る、挨拶する、敬語で話す、は大人として当たり前の事であり最低限度のマナーです。

朝登校してきたら、いろんな人と良好な関係を築くためにも『おはよう』の一言はどうでしょうか？

- ◎ 冬休み明けすぐに遅刻指導週間（1/12～21）があります。また、頭髪指導を行います。いずれの指導も受けることの無いように冬休み中もきちんとした生活を心がけてください。

【音楽科】

♪ 第14回定期演奏会 9月26日(日)



恒例の音楽科定期演奏会がNHK大阪ホールで開催されました。昨年度は新型インフルエンザの猛威に見舞われましたが、今年度は全員無事に当日を迎え、和楽器演奏、独唱、独奏、アンサンブル、合唱、オーケストラ、合同演奏の各演目で、日頃の練習の成果を披露することができました。ほぼ満員のお客様からは大きな声援と拍手をいただき、達成感を味わうとともに、今後の学習に向けて大いなる励みとなりました。

♪ 稲葉瑠奈ピアノコンサート 12月20日(月)

本校51期生(音楽科2期生)のピアニスト稲葉瑠奈さんによるピアノコンサートが開かれました。自治会企画「クリスマスウィーク」のイベントの1つとして、クラシック以外にも「戦場のメリークリスマス」や自作曲など親しみやすいプログラムで、素敵な演奏を聴かせていただきました。



♪ 今後の行事予定

1月14日(金) 特別公開講座「ピアノ演奏とレッスン」15:45~17:45

講師：ユーリ・スレサレフ氏

(モスクワ音楽院教授・くらしき作陽大学特任教授)

1月28日(金) 特別公開講座「文楽」(詳細未定)

2月5日(土) 第146回ピッコロコンチェルティスタ 12:00~

2月12日(土) 音楽科3年生演奏会 (時間未定)

*会場はいずれもヴィオーラホールです。



【国際交流委員会】 < 2010年度後期の主な活動報告 >

○9月

中国から長期留学生が2名来日し、本校で勉強しています。1年6組、劉洋成君と2年4組、臧曉雪さんです。クラスにも慣れ、授業だけでなくクラブ活動も参加し、充実した学校生活を送っています。来年の7月まで夕陽丘高校で勉強します。

○7月26日(月)～8月1日(日)

大阪府日本中国友好協会主催 2010年日中青少年交流事業に2年生、後藤和音君が参加しました。上海万博等を見学してきました。詳しい内容は国際交流通信で報告します。

○10月19日(火)～10月25日(月)

21世紀東アジア青少年大交流計画、日本高校生訪中代表団の一人として2年生、馬場郁美さんが参加しました。折しも尖閣諸島問題で日中関係が微妙な時期であり、実施が危ぶまれましたが、受け入れ先の中華全国青年連合会からも歓迎の意向が示され、実施されました。

○11月7日(日) 四天王寺ワッソ参加

四天王寺ワッソに楽隊として吹奏楽部2年生26名、1年生10人は当日の旗手として行列で参加しました。当日の様子及び詳しい内容は国際交流通信で報告します。

○12月2日(木) ハワイ プナホウ高校とのテレビ会議(第2回)

音楽科2年生とLAN教室でインターネット回線を通じて、卒業式に歌う歌の歌詞について会議を行いました。

○12月16日(木)

来年の修学旅行で交流予定の台湾桃園高級中学の生徒、教員70数名が来校しました。授業参加を始めとして、ヴィオーラホールでの歓迎会、各クラスでの交流会、体育館での全体交流会、放課後のクラブ体験まで盛りだくさんの内容で1年生と交流しました。

【当面の予定】

12月24日(金) 冬期休業前集会 大掃除 地域交流清掃

1月11日(火) 1・2年実力試験 3年授業

★冬期休業中(12月25日～1月10日)の間は各学年で講習を企画しています。
詳しくは担当まで。募集を締め切っていますが、希望者は一度相談してみましよう。

【メールマガジン登録受付中】

生徒を通じてプリントを配布していますが、まだ登録されていない方で登録を希望される方は学校までお問い合わせください。
随時、学年からのお知らせがメールで送信されます。



↓これは何でしょうか?



今年もあと一週間となりました。皆さんの今年1年はどうだったでしょうか? 最近の夕陽丘高校の様子をみていますと、「自主自律」とはなんだろうかと考えてしまいます。教室や廊下のゴミやホコリ・食べながら飲みながら校内だけでなく町中を闊歩する・信号無視横断歩道無視などマナー違反が日常茶飯にみられます。夕陽丘高校を楽しい学校・よい学校にするのは在校している生徒一人一人が構築していくものではないでしょうか。新年2011年を悔いなく暮らしていけるようにみなさんの自覚と努力に期待しています。

思ふこと今年も暮れてしまひけり 正岡子規